

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成26年4月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は9から5に減少。「減少した」業種は2から8に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は14から2に減少。「減少した」業種は5から18に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は5から3に減少。「悪化した」業種は3から7に増加。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は9から10に増加。「減少した」業種は1から6に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は13から9に減少。「減少した」業種は5から11に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は7から8に増加。「悪化した」業種は5のまま変化なし。

製造業

漬物製造

【県内全域】

消費税アップの反動があり売上が下がると思っていたが、小さな下落で推移している。

豆腐製造

【県内全域】

4月より消費税増税となったが、世間で言われていたような圧力や不利な交渉はなかったようだ。国産大豆は引き続き、入札の度に高値更新しており、上限の見えない状況が続いている。増税を乗り越えても原料・光熱費の上昇に苦しめられている製造業者は多い。

酒類製造

【県内全域】

観光関連では、好転しているが全体としては横ばいの状況。消費税引き上げによる売上低下を懸念したが、反動は見られなかった。

乳製品

【県内全域】

牛乳の売れ行きが良くない。各社ヨーグルト中心にイベントを実施。

製材

【県内全域】

年度変わりであり、公共工事が減ったため、若干売上減。

製材

【木更津】

4月はロシア船1隻入港、南用材と米材は入港なし。ロシア材は在庫減少。

印刷

【県内全域】

売上は3月と比較して若干減少し

た模様。例年3月は年度末需要に対応する為に操業度も上昇するが、今年度は消費税率の上昇を見込んだ新年度の駆け込み需要が上乘せされ、各社共大変忙しく稼働。現に用紙や資機材販売の企業からは、4月の始めには一部買いだめの影響もあり、全く注文が入らなかつたそうだ。月間では数%減少。

生コン製造

【県内全域】

昨年末から出荷が落ちていたが、少し回復状況になってきた。セメント、骨材の値上げにより経営が厳しくなっている。生コンは契約ベースの為に値上げできない。

電気鍍金

【県内全域】

消費税率が改正されて、一カ月が過ぎたが、景況は幾分駆け込み受注もあり、また復興関連の影響で受注が改善されている企業もある。だが、これから夏から秋に向かつての景況は、緩やかながらも上昇するとの見方もある一方で薄曇りの景況との見方をするようだ。

鉄工

【千葉】

当組合が実施している事業所動向調査(毎年4月、10月実施)によると、景況感、受注、販売、設備操業度が大幅に好転し、単純比較ではリーマンショック前の好調時を上回る結果が得

られた。消費税アップから4月若干落ち込みが見られる先もあるが、各社健闘しており好調持続を期待している。

【機械部品製造】

【野田】

消費税の転嫁等スムーズに見えるが、厳しい状況も耳にする。業界動向は、引き続き好調傾向があり、維持するよう期待したい。

【機械部品製造】

【流山】

連休前であるため、受注量は前月と変化がないようである。

【機械部品製造】

【柏】

全体的には、消費税に伴う駆け込みの反動により受注は減少。

【金属製品製造】

【船橋】

期末の追い込みを終え、4月以降は不鮮明な状況。現在のところ、大幅な減産傾向は見られない。

【土砂採取】

【県内全域】

地域によっては前月比及び前年同月比で在庫数量の減少の報告。また、前年同月比で売上高の増加、景況の好転報告もあるが、全体では前回報告と大きな変化はない。

【非製造業】

【総合卸売】

【千葉県・東京都】

【事務機・オフィス家具卸】3月までは消費税増税前の特需で売上前年同月比増加したが、4月に入り新たな商談は激減。【日用品卸】メーカーからの仕

入れでは消費税増税分の転嫁がされているが、販売先の大手量販店の一部では増税相当分の納入価格引下げ要請がある。

【食肉卸売】

【千葉市他】

豚流行性下痢（PED）発生によると畜頭数の減少等により、枝肉価格が高騰している。PEDが県内で続発しており、秋以降豚のと畜数の減少が懸念される。

【リサイクル卸売】

【県内全域】

輸出価格は下落しているため、今後国内状況も悪化する可能性有。

【建築材料卸売】

【県内全域】

4月は3月のかげこみ需要の反動か激減した。一過性のものとの判断により、マインドは不変。業界動向は、逼迫していた荷練り一段。4月からセメント値上げに本腰。

【自動車解体】

【県内全域】

スクラップ価格が下げ止まり、少し反発。ただ昨年のレベルまでは回復せず。円安が続いているため輸出については落ち着いた動き。

【乾物卸売】

【県内全域】

消費税増税により3月度は前年比売上額は上昇したが、その分今月は反動を受けたようだ。

【小売】

【柏】

消費税が増税されたが、当テナン

トの大部分が単価として高い物を扱っていないことから、3月と変化はあまりなかった。

【電気機器小売】

【県内全域】

消費駆け込み需要の後で、売上は激減している。

【中古車仕入・販売】

【県内全域】

消費税増税は、中古車販売にとつてはマイナス要因になり販売は低迷。3月までの下取り車によりタマ不足感はなかったが相場は下がり成約も下がり始めている。回復までには2〜3ヶ月の期間がかかるとの大方の見方の意見が多数。輸出は増税の影響もなく好調。

【小売】

【東金】

ファッション関連品含む比較購買品はダウン。食品関係は、消費税の影響は少なかった。全体的には、客数ダウン。

【小売・サービス】

【柏】

消費税増税により大幅売上減を心配したが、どの業種においても減少をしても微減で推移した模様、どの事業者においても、第1週こそ大幅に減少したが中旬より戻りだしてホッとしたというのが実感。

【自動車一般整備】

【県内全域】

消費税増税の影響あり。

【建設揚重】

【県内全域】

4月に入り、若干下降傾向。地域により温度差あり。5月は石油プラントの定修もあり回復傾向を予定している。

【旅館業】

【鴨川】

少しずつ良くなっている。

【一般廃棄物処理】

【千葉】

増税により前月の状況が良かった分、前月比は悪い結果となったが、前年同月と同様の状況であることから、増税の一次的冷え込みもなく、上々の結果と思われる。

【学習塾】

【県内全域】

新入塾生の出足が年々少しずつ遅くなっているように思われる。

【建設】

【県内全域】

当連合会加入組合員の受注額は2,409百万円であった。これは、前月比で△9,321百万と大幅な減少となった。前年同月比でも1,198百万の減少。例年、3月は増加、4月は減少する傾向。

【貨物運送】

【野田】

ドライバー不足に苦勞。高速道路料金のETC割引制度が変更。

【輸出入】

【県内全域】

4月は3月から売上が上昇傾向になり、前月・前年同月比と好転。